



木崎地内(明治33年)、『写真集ふるさと百年豊栄・北蒲原①』新潟日報事業社)P.13引用 ▶



#6 阿賀流域を後に…

バードは7月10日の朝に、アンコ舟に乗船して新潟を出発し、通船川と新発田川を通過して木崎に到着します。そこから人力車に替え、阿賀流域を後にしました。

#5 新潟市に滞在

バードは牧師館に宿泊して、1週間近く新潟に滞在します。その間、明治期の新潟の町中を詳細に記録しており、当時の様子が生き生きと伝わってきます！

#4 信濃川から新潟へ

その後、バードを乗せた船は、阿賀野川から小阿賀野川を経由して、信濃川に出て夕方には新潟に到着しました。

#3 ライン川より美しい！津川急流くだり

バードは来日して初めての舟運を堪能します。特に津川急流くだりの景観には興奮して、「ライン川より美しい」との最大級の賛辞を送りました。



バードが誉めたたえた本尊岩の風景
(明治～大正期の絵葉書、田辺修一郎氏所蔵)

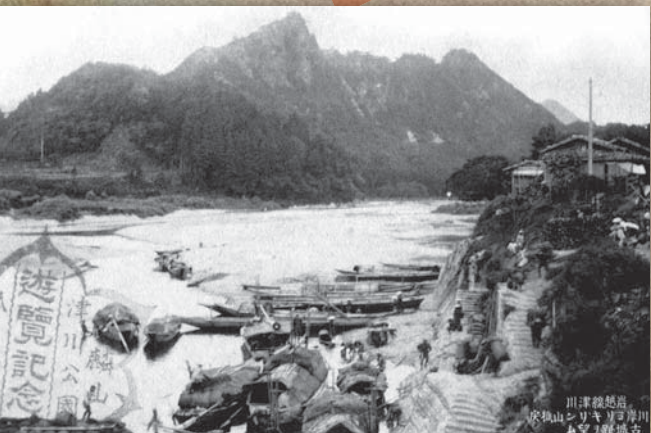
#2 日本有数の川湊・津川に滞在

津川は当時、阿賀野川の交通の要衝で、日本有数の川湊(みなと)でした。バードは結局2泊しますが、珍しく宿泊した旅館に満足したようです。また、夕食に出た「焼きサクラマス」に舌鼓を打ち、これまた珍しく誉めたたえたことから、どうやら津川の印象は大変良かったようです。バードは7月3日早朝に川湊から乗船し川経由で新潟を目指しました。

#1 会津街道から新潟へ

バードは明治11年7月1日に、会津街道を通過して福島から新潟(現・阿賀町)入りします。このあたりの当時の会津街道は道路状態が非常に悪く、バードは馬上で悪戦苦闘して疲労困憊します。そして、やっとの思いで、宿泊地の「津川」に到着しました。

津川の川港と麒麟山(明治～大正期の絵葉書、田辺修一郎氏所蔵)



あかのがわ環境



阿賀野川流域の情報発信サイト

阿賀野川え〜とこだ!流域通信

詳細は「阿賀野川え〜とこだ!流域通信」
(<http://www.aganogawa.info/>)
からご覧ください。

今号は「特集!阿賀野川ものがたり」で最初に特集した「イザベラ・バードの阿賀流域行路を辿る」の総集編をお届けします！

イベント情報

四季の自然

ツアー＆
アクティビティ

食・グルメ・産物

特集!
阿賀野川ものがたり

環境・地域

お土産・ショップ

流域スポット・
施設案内

イザベラ・バードの 阿賀流域行路を辿る

特集!阿賀野川ものがたり 総集編

イザベラ・バード (Isabella Lucy Bird, 1831年10月15日 - 1904年10月7日)

イギリス・ヨークシャー生まれの女性旅行家、紀行作家。オーストラリアやハワイ諸島、北米ロッキー山脈など世界を股にかけて旅した。

1878(明治11)年に初めて日本を訪れ、東北地方や北海道、関西などを旅行し、旅行記『日本奥地紀行』(原題:Unbeaten Tracks in Japan)を著す。その後も60歳を過ぎてなお活動は旺盛で、中国や朝鮮半島なども旅している。

日本は5月20日に上陸して、東京・横浜で旅の準備をした後、6月10日に日光に向けて出発。その20日後の7月1日に、福島から会津街道経由で現・阿賀町に入った。



▼ヒラタ舟(模型)
バードが乗船した舟は明治前半まで活躍したヒラタ舟とのこと。



『東蒲原郡史資料編5近世四』
P.553から引用

▼津川町中



イザベラ・バードが 辿った会津街道と 津川急流くだり